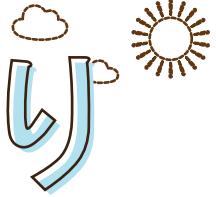


第461号 2月号 2023.2.20

岐阜県 商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市薮田南 5-14-53 TEL: 058-277-1107



地元の力で商店街を盛り上げる！ 「ながせの“わ”フェスタ」開催

◆主催：多治見ながせ商店街振興組合

2023年1月21日（土）、多治見ながせ商店街にて「ながせの“わ”フェスタ」が開催されました。

当日は、ながせ商店街にある13店舗で、「和」や「輪」など、「わ」をテーマにしたスタンプラリーや、多治見高校2年生の“多治見の町づくり活性化プロジェクト”的ゼミ生が企画した宝探しゲーム、そして商店街やまちなかの将来について語るトークライブと、“わ”をテーマにした3つのイベントが行われました。



▲参加店舗を回りスタンプを集めるとプレゼントがもらえる

■ 参加型の企画で店舗来訪のきっかけに

「スタンプラリー企画では、対象商品を購入したり、ワークショップに参加したりすることでスタンプをもらい、美濃焼のマグカップがプレゼントされるという内容で実施し、多くの方にご参加いただきました。参加店の1つである池

のやさんでは、お抹茶をいただける新春茶会を開催し、お茶席のしつらえからお茶菓子まで、本格的な茶の湯の世界を感じてもらえる演出で、参加者の皆さんに楽しんでいただくことができました。」



▲地元の茶道教室のメンバーが茶会を企画

「同時に開催した宝探しゲームは、ゼミ生が1年間まちなかの活性化について学んだことを実践する集大成の場として、商店街と協力して行った企画です。参加者に、各店舗に置かれた宝箱を探してもらいながら、宝物（魅力や一押しの商品）も発見してもらうことで、商店街の良さを感じてもらう工夫をしました。当日は寒い中でしたが、小さなお子様連れのご家族やご夫婦などが訪れてください、この企画を通じて、普段は立ち寄らない店舗を覗いていただけたことで、商店街のお店を知ってもらう良いきっかけになったと思います。」



▲参加店の店頭には高校生手作りの“宝物”紹介ポスターを掲示

■ 地域全体で多治見の街を盛り上げる

「私たちたじみDMOは、商業の活性化や空き

店舗の活用による魅力づくり、街の情報発信やイベント運営など、“まちを元氣にする”事業を行っています。今回も、ながせ商店街を盛り上げるサポーター役として、お手伝いをさせていただきました。今後も、商店街活性化の取組みが持続的に行えるように、商店街の皆さんと連携しながらイベントなどを行いたいと思っています。お客様が楽しんでいただける企画を立てることが大切ですが、それを主催する商店街の皆さんも一緒に盛り上がれるように、皆で楽しみながら取り組んでいきたいです。」

(お話：たじみDMO<一般社団法人多治見市観光協会> 伴さん)

スタンプラリー × SDGs で商店街を盛り上げる！ 「遊びにおんせえ俵町！スタンプラリー&ガラガラ抽選会～美濃町招き猫のさんぽ市2023～」

◆主催：美濃俵町商店街振興組合

2023年1月21日(土)～22日(日)、「遊びにおんせえ俵町！スタンプラリー&ガラガラ抽選会～美濃町招き猫のさんぽ市2023～」が開催されました。

スタンプラリーのテーマはSDGs。参加店舗が取り組むSDGsの活動を、スタンプラリーをしながら知ってもらえるよう工夫をしました。

■ 2年ぶりの商店街イベント開催

「コロナ前は、夜祭りや盆踊りなど、季節に合わせたイベントを開催していましたが、コロナで全てが中止になってしまい、今回2年ぶりに商店街でのイベントを行いました。スタンプラリーにSDGsを組み合わせたのは、商店街も時代に合わせた活動をしていることを、皆さんに知ってもらいたいと考えたからです。事業者の方の中には、SDGsを詳しく知らないという方もいらっしゃいましたが、今回17のSDGs目標の中から、自店が取り組んでいるテーマを1つ以上選んで、店頭に掲げていただいたこと



▲うだつの上がる町並みにある招き猫を回ってスタンプをGET



▲スタンプカードと引き換えで抽選会に参加。商店街で使える商品券や焼き芋がもらえる

で、商店街全体にSDGsに対する理解促進や、意識付けができたのではないかなと思います。」



▲参加店は各自のSDGsの取組みを店頭で紹介

■ イベントの再開を目指して

「今回のイベントは、まだコロナが収まっていない中ですので大々的な告知などはせず、周辺地域の方の参加がほとんどでした。それでもたくさんの子供たちが参加してくれたことで、商店街にまた賑わいが生まれたことは良かったと



▲珍しい“てまわしオルガン”演奏企画も

思います。

コロナ前は、飛騨エリアへ向かうインバウンドの方の立ち寄り地として、商店街も賑わっていましたが、コロナ後はすっかり静かになってしまいました。しかしコロナが落ち着いてくることを期待して、今後は中止になっていた夜祭りなども再開していきたいと思っています。」

(お話：美濃商工会議所 山田さん)

大人も子どもも待ち遠しくなるお祭りに！ 「第44回恵那まちなか市」開催

◆主催：恵那まちなか市実行委員会

2022年12月10日(土)、「第44回恵那まちなか市」が開催されました。今回のテーマは“クリスマス”。今年を締めくくる商店街のイベントとして、たくさんの家族連れの方が来場していました。



▲クリスマスらしい企画がたくさん

■ 何度も来たくなる仕掛けをつくる

「今回はコロナ再拡大の影響で、残念ながら出店者やボランティア中学生の方々のキャンセルもあり、少し落ち着いたイベントとなりました。



▲クリスマスソングが満載の音楽祭

それでも地元有志の方々が出演してくださった、“まちなか音楽祭”を中心に人が集まり、良いイベントになったかなと思います。今年は無事、春夏秋冬とまちなか市を開催できたので、全てに参加しスタンプを集めてくださった方は、飛騨牛など豪華景品が当たる抽選会を企画しました。家族全員でエントリーしてくださる方もいらっしゃり、何度も商店街に来てくださった証しですので嬉しい限りです。」

■ 小さくても始めることが大事

「2023年1月には法人化し、『恵那市商店街振興組合』として新たな組織が誕生します。駅前商店街も含め50会員からスタートし、担い手も資金も増えることで、さらに面白い企画ができると楽しみにしています。恵那にはドローンを扱う会社があるので、ドローンの競技大会を開催しても面白いかなと皆で話し合っています。これまでのいい部分は残しながら、新しいことにどんどん挑戦していく組織にしていきたいです。」

「今年は、校区外の小学生が我々の商店街を観察に来てくれたことが、とても印象深い出来事でした。大手の商業施設しか知らない彼らが、商店街に興味を持ってくれて、「お客様はどこから来ているの？」など、たくさんの質問をしてくれました。その彼らがまちなか市に遊びに来てくれて、「このお店知っているよ。」と親御さんに私たちのお店を紹介してくれるのを見て、次世代の彼らに商店街や街の魅力を発信していくことの大切さを痛感しました。いま、地元の小学生



▲ブースには親子連れの行列で賑わう

に「恵那のお祭りといえば？」と質問すると、多くの子どもが「まちなか市」と答えてくれます。これは本当に嬉しいことです。まちなか市も今回で44回目となりますが、市民の皆さんに浸透するのに5～6年かかりました。商店街のメンバーも始めは遠巻きにみていましたが、まずは自分が率先してやらねばと企画、運営と尽くしているうちに、一人また一人と助けてくれる方が増えてきました。私の息子も協力してくれたことで若い仲間が増えていき、どんどんイベントが大きく賑やかになっていくことで、市民の皆さんに楽しみに待ってもらえるイベントにまで成長し、やはり“魄(かい)より始めよ”だと身にしみて思いました。」

■ 商店街から恵那のファンをつくる

「最近、商店街への出店を希望する方がいらっしゃいました。地元恵那で育ち、地域を盛り上げるために劇場を作りたいと計画しているそうです。こうした若い方が商店街にお店を出したいと言ってくれることこそ、私たちの最終的な目標です。そのためにも、商店街をもっともっと開かれた場所にしていきたいと考えています。商店街に溢れるたくさんの魅力を活かして、市民の皆さんに愛される恵那の街づくりに貢献していきたいと思います。」

(お話：恵那まちなか市実行委員長・恵那商店街連合会会長 大塚さん)



▲実行委員長の大塚さん

【取材・記事 中小企業診断士 二宮佳代】

◆ 令和2年度第3次補正・令和3年度補正 令和4年度予備費予算 中小企業等事業再構築促進事業

1. 事業の目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売上の回復が期待し難い中、ウィズコロナ・ポストコロナの時代の経済社会の変化に対応するために新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援することで、日本経済の構造転換を促すことを目的とします。

2. 補助対象者

本事業の補助対象者は、日本国内に本社を有する中小企業者等及び中堅企業等とします。

3. 必須申請要件

① 2020年4月以降の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前(2019年又は2020年1~3月)の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少していること。

※上記を満たさない場合には、次の項目を満たすことでも申請可能。

2020年4月以降の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計付加価値額が、コロナ以前の同3か月の合計付加価値額と比較して15%以上減少していること。

② 事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む。

③ 補助事業終了後、3~5年で付加価値額の年率平均3.0%(一部5.0%)以上増加、従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%(一部5.0%)以上増加の達成。

4. 補助額・補助率

【通常枠】

補助額

従業員数20人以下

100万円~2,000万円

従業員数21人~50人

100万円~4,000万円

従業員数51人~100人

100万円~6,000万円

従業員数101人以上

100万円~8,000万円

補助率

中小企業2/3(6,000万円超は1/2)

中堅企業1/2(4,000万円超は1/3)

【大規模賃金引上枠】

必須要件①~③を満たし、かつ補助事業実施期間の終了時点を含む事業年度から3~5年の事業計画期間終了までの間、事業場内最低賃金を年額45円以上の水準で引き上げること及び補助事業実施期間の終了時点を含む事業年度から3~5年の事業計画期間終了までの間、従業員数を年率平均1.5%以上(初年度は1.0%以上)増員させること。

補助額

従業員数101人以上

8,000万円~1億円

補助率

中小企業2/3(6,000万円超は1/2)

中堅企業1/2(4,000万円超は1/3)

【回復・再生応援枠】

必須要件①~③を満たし、かつ以下の①又は②のどちらかを満たすこと

① 2021年10月以降のいずれかの月の売上高が対前年または前々年の同月比で30%以上減少していること。

② 中小企業活性化協議会(旧:中小企業再生支援協議会)等から支援を受け再生計画等を策定していること。

補助額

従業員数5人以下

100万円~500万円

従業員数6~20人

100万円~1,000万円

従業員数 21人以上
100万円～1,500万円
補助率
中小企業3／4 中堅企業2／3

【最低賃金枠】
必須要件①～③を満たし、かつ2021年10月から2022年8月までの間で、3月以上最低賃金+30円以内で雇用している従業員が全従業員の10%以上いること

※「2020年4月以降のいずれかの月の売上高が対前年又は前々年の同月比で30%以上減少していること」の要件を撤廃しました。

補助額
従業員数5人以下
100万円～500万円
従業員数6～20人
100万円～1,000万円
従業員数21人以上
100万円～1,500万円
補助率
中小企業3／4 中堅企業2／3

【グリーン成長枠】
以下の要件を全て満たすこと（売上高の減少は求めない）。

①事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む。

②補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均5.0%以上増加又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均5.0%以上増加の達成。

③グリーン成長戦略「実行計画」14分野に掲げられた課題の解決に資する取組として記載があるものに該当し、その取組に関連する2年以上の研究開発・技術開発又は従業員の一定割合以上に対する人材育成をあわせて行う。

補助額
中小企業：100万円～1億円
中堅企業：100万円～1.5億円
補助率

中小企業1／2 中堅企業1／3

【緊急対策枠】
必須要件②～③を満たし、かつ足許で原油価格・物価高騰等の経済環境の変化の影響を受けたことにより、2022年1月以降の連續する6か月のうち、任意の3か月の合計売上高が、2019年～2021年の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少していること等。また、コロナによって影響を受けていること。

※売上高の減少に代えて、付加価値額の減少でも可。

※電子申請時に、コロナによって受けている影響を申告することが必要。

補助額
従業員数5人以下
100万円～1,000万円
従業員数6～20人
100万円～2,000万円
従業員数21～50人
100万円～3,000万円
従業員数51人以上
100万円～4,000万円

補助率
中小企業3／4（※1）
中堅企業2／3（※2）
(※1) 従業員数5人以下の場合500万円を超える部分、従業員数6～20人の場合1,000万円を超える部分、従業員数21人以上の場合1,500万円を超える部分は2／3
(※2) 従業員数5人以下の場合500万円を超える部分、従業員数6～20人の場合1,000万円を超える部分、従業員数21人以上の場合1,500万円を超える部分は1／2

●1月16日、第9回公募を開始しました。締切
りは3月24日です。

※詳細は事業再構築補助金事務局ホームページ
をご確認ください。

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。